

# かるこゆう

令和2年2月・令和2年3月号（第81号）



【文責：西彼図書館】

## 1年間、ありがとうございました！



早いもので、今年度最後のお便りになりました。  
 旧暦では1月～3月を春としていますが、もう少し寒い日が続きそうですね。  
 3月は旧暦で「弥生」。  
 冬が終わり、草木が芽吹き生い茂る様子を表しています。  
 この時期、新たな場所へ旅立つ人や、新しく何かを始める人も多いのではないのでしょうか。  
 新しい環境で不安なとき、枯れているようにも見える木々からまぶしい新芽が萌えると、  
 なんだか励まされるような気持ちになります。  
 さて、今年度も沢山の方に図書館/図書室を利用して頂き、ありがとうございました。  
 春からまた気持ちを新たに、より多くの方に利用して頂けるよう、頑張りたいと思います。  
 来年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

### 2月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 ★
2	3	4	5	6	7	8 ★
9	10	11	12	13	14	15 ★
16	17	18	19	20	21	22 ★
23	24	25	26	27	28	29

### 3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 ★
8	9	10	11	12	13	14 ★
15	16	17	18	19	20	21 ★
22	23	24	25	26	27	28 ★
29	30	31				

◇ 休館日

★ おたのしみ会（絵本の読み語り、工作など）

- ☆西彼図書館 毎月第1土曜日 10:00～
- ☆西海図書室 毎月第2土曜日 10:30～
- ☆大瀬戸図書室 毎月第3土曜日 10:00～
- ☆大島図書館 毎月第4土曜日 10:30～



## 第162回 芥川賞・直木賞受賞

### 芥川賞

『背高泡立草』  
古川 真人/著（集英社）

《内容》  
 草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは納屋だけではないからー。  
 長崎の島に残る母の実家の納屋周辺の草刈りに、親族たちと向かう娘の物語。  
 島の風景や方言の会話と共に、島の歴史や人々の記憶などが振り返られていく。  
 記憶と歴史が結びついた、著者新境地。

#### 「芥川賞候補」

- 「幼な子の聖戦」 木村 友祐（集英社）
- 「音に聞く」 高尾 長良（文藝春秋）
- 「最高の任務」 乗代 雄介（講談社）
- 「デッドライン」 千葉 雅也（新潮社）

### 直木賞

『熱源』  
川越 宗一/著（文藝春秋）

《内容》  
 樺太で生まれたアイヌ、ヤヨマネクフは故郷を奪われたポーランド人や、若き日の金田一京助と出会い、自らの生きる意味を見出し…。明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのかー。  
 圧巻の歴史小説。

#### 「直木賞候補」

- 「嘘と正典」 小川 哲（早川書房）
- 「スワン」 呉 勝浩（KADOKAWA）
- 「背中の蜘蛛」 菅田 哲也（双葉社）
- 「落日」 湊 かなえ（角川春樹事務所）

## ・蔵書点検にともなう休館のおしらせ・

下記の日程で蔵書点検をおこないます。期間中は休館しますので、ご利用の際は、開いている最寄りの館・室にお立ち寄りください。  
 ご不便おかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

### 《蔵書点検による休館期間》

- ☆大瀬戸図書室 2月17日（月）～2月24日（月）
- ☆西彼図書館 2月24日（月）～3月2日（月）

※ご自宅に長期間借りている本がある方は、早めに返却をお願いします。

崎戸図書室・西海図書室・大島図書館は終了しました。



一般書

《わたしの美しい庭》 凧良 ゆう/著
マンションの屋上には小さな神社がある。断ち物の神様が祀られていて、悪いご縁を断ち切ってくれるといい…。縁切り神社を訪れる〈生きづらさ〉を抱えた人たちと、「わたし」の物語。救いに満ちた、感動作！

小説

《花咲小路一丁目の髪結いの亭主》 小路 幸也/著
たくさんのユニークな人々が暮らし、さまざまな事件が起きる花咲小路商店街。レトロな理髪店「パーパーひしおか」は、小柄な奥さんが切り盛りし、店主の旦那さんはのんきに暮らしてばかり。それもそのはず、旦那さんには思いもよらぬ裏の顔があり…。

小説

《瓦礫の死角》 西村 賢太/著
父の性犯罪により解体した“家族”。その記憶の瓦礫の下から、影が動く。7年の月日を経て、服役を終えようとする“あの人”の影が…。犯罪加害者家族の十字架を描く表題作をはじめ、全4編を収録。

小説

《できない相談》 森 絵都/著
夫の部屋は掃除しない、余計な金は支払わない、料理は食べきる、サービストークには付き合わない…。ひとがなんとおとうと、わたしはそれを我慢しない。日常の小さな抵抗を描いた小説集。

小説

《老〜い、どん！》 樋口 恵子/著
人生後半の幸福のために何をなすべきか。満身創痍ならぬ満身疼痛の「ヨタヘ〇期」をよろめきながら直進している87歳の著者が、老いの現実と覚悟を伝える。大笑いしながら、自身の生き方を考えずにはいられない、著者渾身のエッセイ。

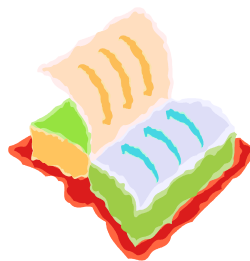
実用書

《泣いたあとは、新しい靴をはこう。》 YA 日本ペンクラブ/編
親友を裏切ってしまったけど、どうしたらいいですか？ 校則って理不尽じゃないですか？ 自分のこと、人間関係、将来…。ティーンの悩みに、森絵都、俵万智ら44名の作家が本気で答えます。

YA

〈その他おすすめの新刊〉

- 『風間教場』 長岡 弘樹/著
『マタタビ潔子の猫魂』 朱野 帰子/著
『灘校物語』 和田 秀樹/著
『ぷくぷく』 森沢 明夫/著
『抵抗都市』 佐々木 譲/著
『大塩平八郎の逆襲』 田中 啓文/著
『図解 土づくりタネまき植えつけ』 (実用書)
『庭木・花木・果樹の病害中ハンドブック』 草間 祐輔/著 (実用書)
『僕は、死なない。』 刀根 健/著 (実用書)
『激セマキッチンで楽ウマごはん』 草野 かおる/著 (実用書)



新しく入った本

児童書 《ぴのちゃんと さむさむねこ》 えほん 松丘 コウ/作・絵

寒空のなか、道でうずくまっているねこに出会ったぴのちゃん。ねこは、毛皮が焼けて寒くて動けなくなってしまうという。ぴのちゃんはねこに服を貸そうと、一緒に家に行き…。体も心もあたたかくなる物語。

えほん

《なんだろう なんだろう》 えほん ヨシタケ シンスケ/著
なんだろうなんだろう、「学校」ってなんだろう。つい忘れ物をしちゃうところ？ ヨシタケシンスケが描く「たとえばこんな考え方、どうでしょう？」の本。

よみもの

《イナバさん！》 よみもの 野見山 響子/作
ダンスの角に足の指をぶつけやすい、自動ドアにはさまれやすい…。自分と世界の境界があいまいな白ウサギのイナバさんの特異体質が、困ったことを招きますー。ゆるキャラ・イナバさんの時空を超える物語。

ちしき

《への本 おなら大百科》 ちしき オナラファクトリー/著
おならはなぜくさい？ にぎりっぺの昔話がある？ へがひっこしをする？ おならのヒミツや、へこきばなし、「へ」のつく言葉とことわざを、イラストとともに紹介します。とってмокさ〜〜い、大百科！

〈そのほかおすすめのあたらしいほん〉

- 『ゆきのけっしょう』 武田 康男/監修・写真 (えほん)
『パンダしりとりコアらしりとり』 高島 純/絵 (えほん)
『魔法のたいこと金の針』 茂市 久美子/作 (よみもの)
『ミオとなりのマーメイド 6』 ミランダ・ジョーンズ/作 (よみもの)
『ピカチュウにおまかせ！』 溝渕 誠/まんが (ちしき)
『そうだすぎて気がとおくなる宇宙の図鑑』 渡部 潤一/監修 (ちしき)
『ありのままに生きてます』 加藤 英明/著 (YA)
『54字の物語 ZOO』 氏田 雄介/著 (YA)
『おとぎカンパニー 日本昔ばなし編』 田丸 雅智/著 (YA)